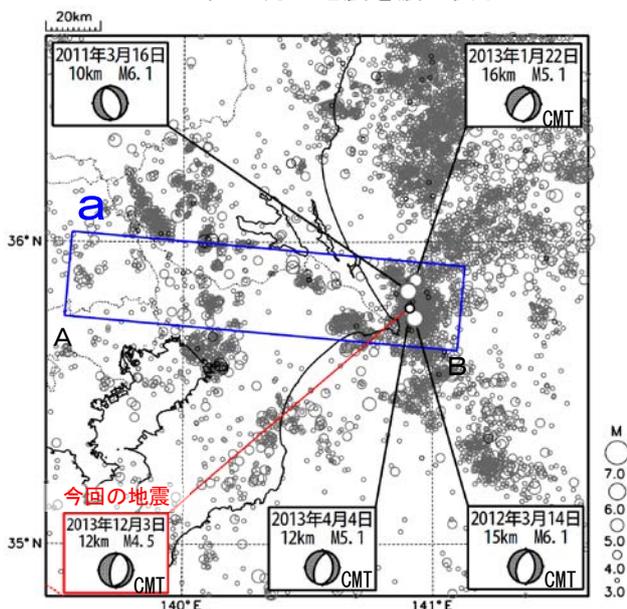


12月3日 千葉県東方沖の地震

震央分布図*

(1997年10月1日～2013年12月3日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
2013年11月の地震を濃く表示

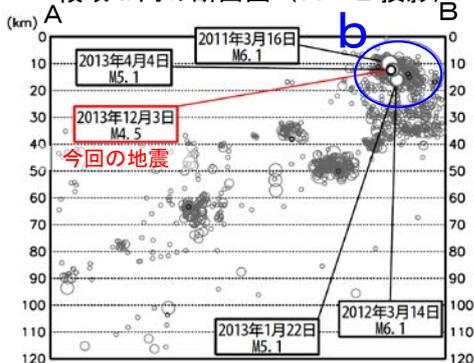


2013年12月3日15時58分に千葉県東方沖の深さ12kmでM4.5の地震(最大震度4)が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。この地震の発震機構(CMT解)は西北西-東南東方向に張力軸を持つ正断層型である。

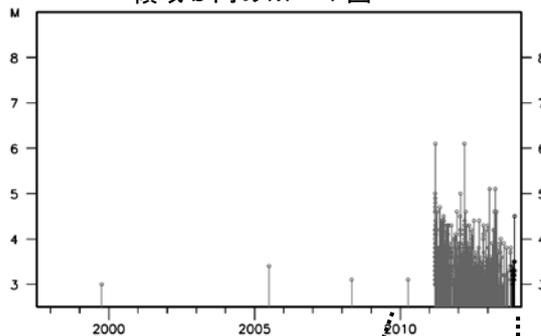
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M3.0以上の地震はほとんど発生していなかったが、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生以降地震活動が活発になり、2012年3月14日に発生したM6.1の地震(最大震度5強)では、死者1人、負傷者1人、住家一部破損3棟などの被害を生じた(総務省消防庁による)。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震がしばしば発生している。最大の地震は2011年3月11日に発生したM7.6の地震(東北地方太平洋沖地震の最大余震、最大震度6強)である。

領域a内の断面図(A-B投影)*

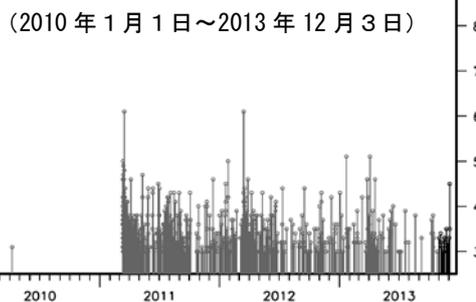
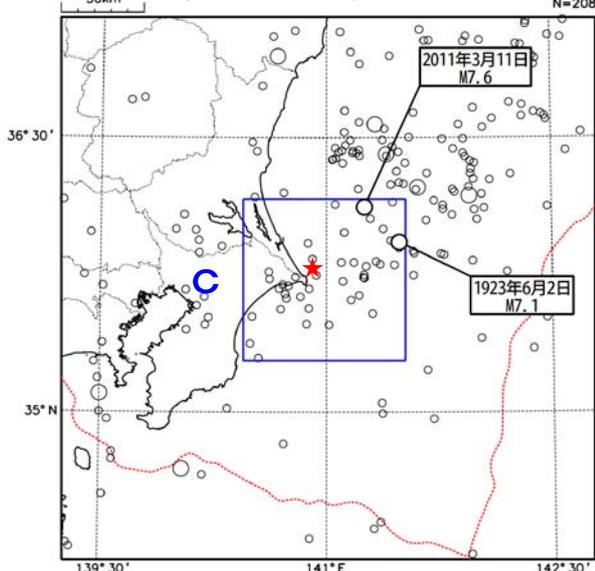


領域b内のM-T図*

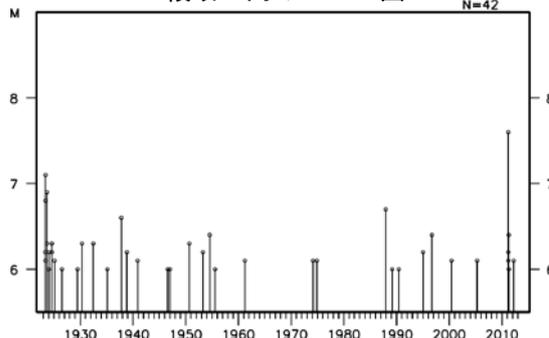


震央分布図

(1923年1月1日～2013年12月3日、
深さ0～120km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM-T図



★は今回の地震の震央位置

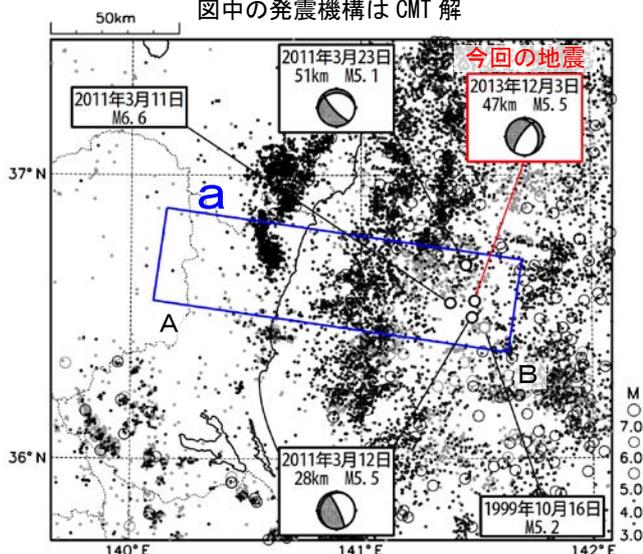
*2011年3月13日～5月30日に未処理のデータがある。

12月3日 茨城県沖の地震

震央分布図*

(1997年10月1日～2013年12月5日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)

東北地方太平洋沖地震発生以降の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解

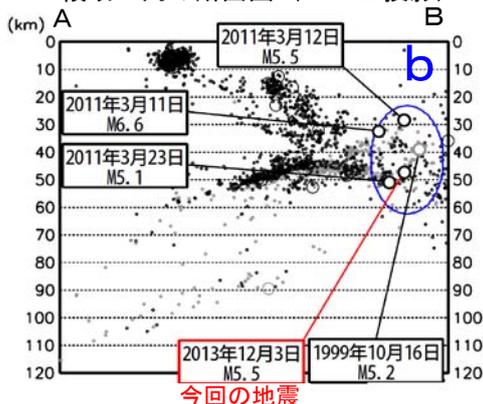


2013年12月3日18時16分に茨城県沖の深さ47kmでM5.5の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は西北西-東南東方向に張力軸を持つ型である。

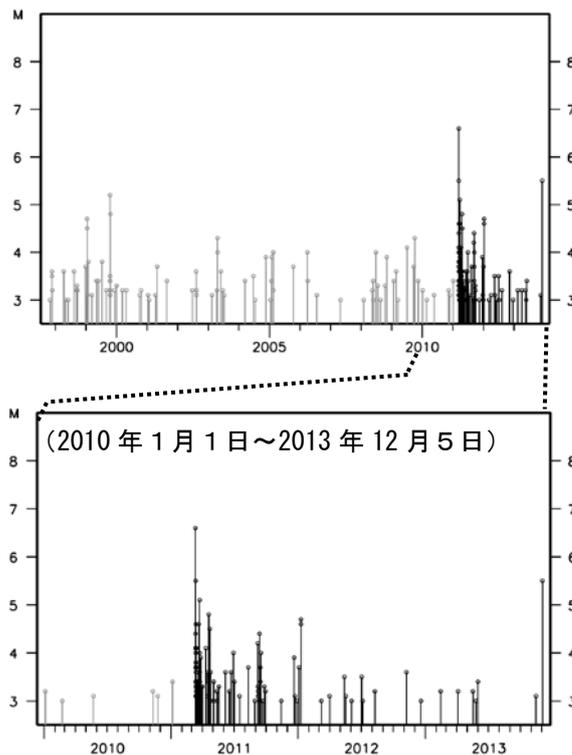
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生以降、地震活動が一時的に活発になった。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震がしばしば発生している。1938年11月5日にはM7.5の地震が発生し、宮城県花淵で113cm(全振幅)の津波が観測され、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害を生じた(「最新版 日本被害地震総覧」による)。

領域a内の断面図(A-B投影)*

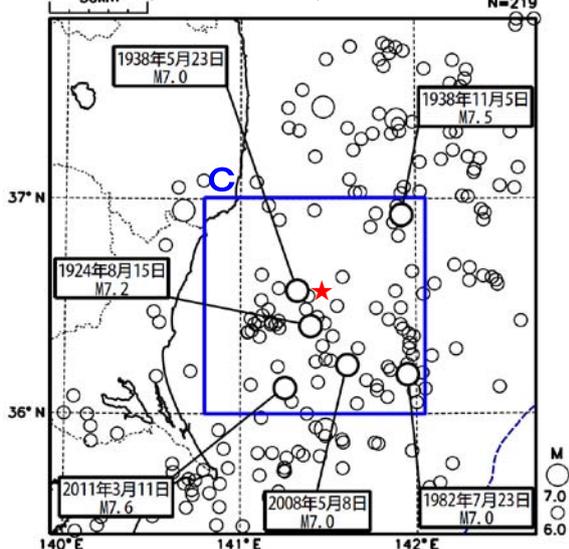


領域b内のM-T図*



震央分布図

(1923年1月1日～2013年12月5日、
深さ0～120km、 $M \geq 6.0$)



★は今回の地震の震央位置

※ 2011年3月13日～5月30日に未処理のデータがある。

領域c内のM-T図

